

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	幼児発達支援センター柏学園			
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 4日 ~ 令和 8年 1月 9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 4日 ~ 令和 7年 12月 26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 11月 4日 ~ 令和 8年 1月 9日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7名	(回答数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われるこ と ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域との繋がり。 ※以前より児童発達支援センター等機能強化事業や市町の母子保健事業の委託を受けており、近隣の保育園、幼稚園、認定子ども園等との関係が深く、今後もこの繋がりを大切にすること。	協議会や子ども子育て会議等には参加していくこと。 依頼された研修講師等はできるだけ引き受けしていくこと。 訪問先施設からの対象児以外の相談には、速やかに対応すること（児童発達支援センター等機能強化事業）。	近隣の児童発達支援事業所との連携。
2	保護者との繋がり。 ※子どもの発達の評価だけではなく、保育園や幼稚園、認定こども園での様子を見させていたいなど、保護者のご希望と訪問先施設の保育、教育理念に沿った支援が可能かどうかを判断させてもらうこと。	保育所等訪問支援を実施する前には、基本的な相談と個別療育は実施することにしている。担当支援者と保護者が子どもの成長発達を共有できる状態を作ること。	保護者への適切な療育的助言ができるような職員の育成。
3	訪問先施設の評価。 ※子どもの育ちを通して、訪問先施設と同じ立場目線で、親と子を支えていくことができるような支援をしていくこと。	活動の中に一緒に参加させてもらうこと。 わかりやすい言葉で子どもの発達を解説すること。 訪問先施設の先生方との信頼関係を築くこと。	協働できる人間性を持った職員の育成。

	事業所の弱み（※）だと思われるこ と ※事業所の課題や改善が必要だと思われるこ	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の育成。 ※保育所等訪問支援事業をこなしていくことができる支援員は、ある程度の療育技術と専門的な知識、経験が必要であり、養成することに時間を要す。	女性の多い職場であり、女性ならではの一定期間の空白ができることも想定していかなければならない。	職員の仕事に対するモチベーションを保つための工夫。 資質の向上を目指すための研修。
2	ケース会議等担当者が共有する時間の設定が難しいこと。 ※中堅からベテランと呼ばれる職員の仕事量の多さについて、分担してはいるが、どうしても差が生じる。	様々な事業に対応する職員が限られており、どうしても仕事が集中してしまう傾向にある。	業務の効率化と職員の育成。
3	外部研修への参加がなかなか難しいこと。 ※支援員が少なく、保護者からの希望に沿って支援をしていくと思うと、研修の時間が確保にくい。	保育所等訪問支援事業に特化した研修は少なく、どの研修が訪問支援員にとって有効であるかの選択が難しい。	支援員として必要なことは何かを熟知し、有効な研修を計画していく。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	幼児発達支援センター柏学園	公表日	令和 8年 1月 23日
------	---------------	-----	--------------

利用児童数 7名 回収数 7名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			1		必要な教具教材が訪問先にない場合は柏学園の教具教材を使用し、ご紹介して訪問先が揃えてくださることもあります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6			1		個別指導室や個別相談室を使用しています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7					継続していきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7					事業を開始する前に相談しています。また次回の日程はその都度お伝えしています。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。	7					訪問する支援員については、子どもの評価が適切にできる、療育の経験年数が長い職員が支援するようにしています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				個別療育での様子を踏まえて支援していただいているので集団での子どもの様子との違いや成長も分かって勉強になります。/	継続していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	7					継続していきます。
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6			1	特に行事前など、参加の仕方や配慮など一緒に考えて下さって親として不安が軽減されています。ありがとうございます。/	継続していきます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					保育所等訪問支援ガイドラインの説明と周知をしていきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					継続していきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7					継続していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1				継続していきます。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					継続していきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5			2		就学についての学習会等に必要であれば声をかけさせていただいていますが、個別の懇談等でご相談には対応しています。
	15	必要なときには子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思っていますか。	7					継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					継続していきます。
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1		継続しています。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					継続していきます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7					お子さんの発達や育ちを客観的に評価し、訪問先施設にも伝えていきます。その上で、一緒に考えていくようにしています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6			1		継続していきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	7					継続していきます。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1		1		この度の自己評価結果については柏学園ホームページで公表いたします。
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					記録その他の管理については、児童発達支援センター柏学園と同様にしております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5			2		訪問時に災害等の緊急事態になった場合は、訪問先のマニュアルに沿って対応していきます。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			2		訪問先の安全計画に則って支援をさせていただきます。
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7				いつも楽しそうです。/	お子さんの様子や支援の内容を丁寧に伝えていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	7				子ども園に直接伝えにくいことも、子ども園に対して配慮していただきながら、代わりに伝えて頂くなどしていただき、ありがとうございます。/困り事についてのアドバイスや保育園での様子、成長など教えて頂きありがとうございます。/	ご協力に感謝いたします。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

幼児発達支援センター柏学園

公表日 令和 8年 1月 23日

利用児童数 7名 回収数 7名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7			支援の必要な子どもに対して、またその周りの子どもに対しての関わり方を事例を通して伝えて下さるのでわかりやすいです。/具体的なアドバイスをしていただけるので実践に生かしやすい。/具体的に教えて下さるので保育の中に取り入れやすく、助かっています。/	訪問先の保育の実践をみせていただくことは、我々にとっても非常に勉強になります。一緒に考えるスタイルが柏学園のスタイルなので、今後ともよろしくお願ひします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7			短時間で見られても、すぐにその子の特性をつかんで教えて下さり、とてもわかりやすいです。/	新しい情報や保育内容などには常に敏感であります。研修や実践を積み重ね、一人ひとりのお子さんの育ちを支えていくことができるようになっていきたいと考えています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7			質問したことに対して的確にこたえていただいている。/はい。わかりやすく答えて下さっています。/	わかりやすく説明すること、一方的な助言や回答にならないようにすることを心がけていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したこと、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7			職員の困っていることに対して細かなところまで納得いくように助言してくださいます。/困りごとへの対応方法を教えて頂きましたが、解消されるまでには至っていない子もいます。/	誰が困っているのかを明確にしていくことも必要であり、本人の困り感なのか周りの人の困り感なのかを見極め、対処していきたいものです。継続していきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	7			子どもの成長と一緒に喜んで下さったり、職員の気づかない子どもの成長に気づかせて下さっています。/はい。満足しています。/	ありがとうございます。継続していきます。
					ご意見を踏まえた対応	
<p>いつもお世話になります。子どもの様子やクラス状況をよく理解していただいている、的確なアドバイスをいただいている。また柏学園での実践を具体的に伝えて下さることで、私たちがすべき必要な支援がわかりやすく、保育に結びついています。今後も引き続きよろしくお願ひします。/</p> <p>保育の様子を見て、園児との関わり方、気を付けるべきところを丁寧に教えてください、保育についてもアドバイスをいただけて、とてもありがとうございます。また、気になる子に対しても、アドバイスをいただけてとても助かっています。いつもありがとうございます。/</p> <p>いつも園児を一番に考えて、助言してくださり、ありがとうございます。/</p> <p>1か月ごとに来て下さり、いろんなクラスの気になる子も見て下さり、アドバイスを頂けることに感謝しています。教えて頂いた対応をしていく中で困り感、また何か月かたって同じ子を見て頂き、成長ぶりを感じてもらうこともあります。また、先生たちによくがんばられたと言って頂き、とても勇気づけられています。/</p> <p>いつもわかりやすい助言、説明で、普段の保育に生かすことができ、保育士も満足しています。今後ともよろしくお願ひします。/</p> <p>毎月来ていただくことで、その子の成長を共に喜び合うことができ、嬉しく思っています。また柏学園での姿を聞くことで保育所とは違うその子の一面を知ることができます。今後も引き続きよろしくお願ひ致します。/</p>					集団をまとめて適正なクラス運営を行っていくことの大変さは、同じように子どもを育てる仕事をしている我々も同じです。訪問先の先生方と一緒に保育をしたり、カンファレンスをしていくことで、我々も多くのことを学ばせていただいている。インクルーシブな保育、教育を実践していく一つの形として役に立つ保育所等訪問支援を行っていきたいと考えています。ご協力ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター柏学園				
		公表日 令和8年1月23日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		1	使用する必要がある場合は通園部の教具教材を適切に使用している。/	できるだけ訪問先の教具教材を使用させていただきます。その上で、必要な教具教材は準備したいと考えています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1			利用希望者が多く、お断りせざるを得ないことがあります。職員の育成が急務ですが、経験値が必要な仕事だけに、職員自身の意欲と経験を大切にしながら育てていきたいと考えています。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		1	上司に相談することは行っているが、広く職員は参画していない。/	児童発達支援センター柏学園に準じています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			保護者の意向を把握する機会は、十分に設けているつもりですが、今後も保護者向け評価表のご意見を真摯に受け止め、できるところは改善していくようにしていきます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			児童発達支援センター柏学園に準じています。組織としては小さい組織であり、報告、連絡、相談は容易にできる環境になっています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	外部評価は行っていない。/	現在は行っていません。今後考えています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1		園内の研修でケース報告をし合い、子どもの育ちについては随時行っている。/	研修については、児童発達支援センター柏学園としての園内研修はもとより、外部研修にも参加できるようにしています。継続していきます。
適切な支援	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1		アセスメントも含めて客観的に分析することを心がけて作成している。/	客観的に分析する方法としては、各発達検査を使用しています。その上でニーズを整理し、計画を作成しています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1			子どもの最善の利益とは何かを考えるにあたり、職員一人一人の研鑽が必要であり、様々な場面や研修を通して学んでいければと思います。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1		支援計画を作成する時に保育所の中で取り組めそうかなど意見を聞くようにしている。/	継続していきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		行えていると思う。/	継続していきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1		新版K式発達検査や遠城寺検査項目を確認しながら評価している。/	柏学園の療育に準じています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1		訪問先施設で実施できる具体的な支援内容になるように検討している。/	本人支援、訪問先施設の職員支援、家族支援を実施しています。継続していきます。

の提供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。				継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			必ずとは言い難いが、必要に応じて実施している。/	管理者、児童発達支援管理責任者、支援員で行いますが、調整がうまくつかない日もあります。時間調整をしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			必ずとは言い難いが、必要に応じて実施している。/	管理者、児童発達支援管理責任者、支援員で行いますが、調整がうまくつかない日もあります。時間調整をしていきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。				継続していきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。			毎回の記録は徹底しており、検証に繋げている。/	記録については思いのほか時間を要します。端的に誰が見てもわかりやすい記入の仕方を工夫していきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			定期的に保護者や訪問先と話をするが、今の様子についての対応の話が多く、計画については話す機会が少なかった。/	継続していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			可能な限り参画している。/	時間の調整が難しい場合が多く、なかなか参加できないという現状ですが、できるだけ参画していきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			就学相談を受けてもらった時に情報提供するなど連携を取っている。/	管理者が窓口となり、児童発達支援管理責任者や支援員が連携を図っていく体制を整えています。必要に応じて連携をとっています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			就学相談を受けてもらった時に情報提供するなど連携を取っている。/	幼保小の架け橋プログラム等が謳われ、連携が行われるようになりました。もう少し積極的に情報提供していきたいと考えています。学校教育との相互理解は必要だと考えています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				研修に関しては、児童発達支援センター柏学園に準じています。もっと多くの外部研修にも参加できるように、職員の勤務を考えていきます。
	24	（自立支援）協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			上司が出席している。/	時間の調整が難しい場合が多く、なかなか参加できないというのが現状ですが、積極的に参加していくようにします。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				継続していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			実施している家族支援プログラム（就学に向けての学習会、柏学園版ペアトレ）を紹介している。/	継続していきます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				丁寧な説明に関しては、行う人によって違うという側面があるので、説明の仕方を統一していきたいと思います。
の提供	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。				事業開始時には特に説明するようにしています。まだまだこの事業の詳細は行き届いていないと感じており、誤解が生じないようにしていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			子どもの最善の利益を最優先に考えた上で、子どもや保護者の意思を尊重するように心がけている。/	継続していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。			説明を行い、同意を得ている。/	継続していきます。

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1			継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	そのような機会は設けられていない。/	この事業では必要ないと考えています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1		対応するように努めている。/	職員間の報告連絡相談体制をより明確にしていきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1		今後考えていきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			記録やPC、USBなどの職員室からの持ち出しが禁止しています。セキュリティ会社と契約しており、職員室内には防犯カメラを設置しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			外国籍の保護者が増えています。PCやスマートフォンを駆使することも多々あります。意思の疎通は大切なことなので、充分配慮していきたいと考えています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1		可能な限り行っている。/	支援を必要とする子どもが増加しているように感じています。クラスの中で、対象の子どもの支援のみでは終わらない状況があります。集団保育を考える時には、クラスの一人ひとりの子どもの育ちを考える必要があると考えます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1		毎回実施している。/	わかりやすい説明や解説、訪問先施設の先生の考えている保育や思いも含めて丁寧に話し合いを行います。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		実施後すぐにではないが、行うようにしている。/	月1～2回程度は必ずご家族とお会いしたり、電話でお話するようにしています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			個人名や記録、そのPCやUSBなどは職員室からの持ち出しが禁止しています。職員室には防犯カメラを設置しています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1		できる限り行っている。/	継続したいと考えています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1	家族には周知していない。/	柏学園に準じています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			柏学園に準じています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			柏学園に準じています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1		権利擁護についての研修を実施している。/	柏学園の研修に沿っています。継続しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1			柏学園の研修に沿っています。継続しています。